

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①第42回厚真町スケート記録会
- ②スケート記録会成績/地域おこし協力隊・スポーツ振興支援員
- ③学校運営協議会 文部科学大臣表彰/厚真町文化講演会開催/かんじき体験
- ④先住民族アイヌの方々の歴史と文化/まが玉づくり体験/1月定例教育委員会/あつまけん玉クラブ
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動報告

第42回厚真町スケート記録会

2月4日(土)に厚真町民スケートリンクにて、第42回厚真町スケート記録会が開催され、54人の児童生徒が参加しました。昨年度は中止となったため、2年ぶりの開催となりましたが、晴天に恵まれ、子どもたちが練習の成果を発揮する絶好の記録会日和となりました。

記録会の最後に行われた2000Mリレーには、小・中学校の垣根を越えて結成された5チームが参加し、保護者の声援が飛び交う中「Atsuma Girls」が1着でゴールとなりました。また、今回は新種目として、等間隔で設置されたコーンを回りタイムを競うスラローム走が実施されました。この種目には、ホッケーやフィギュアスケートの児童が多く参加し、好成績を出すなど、より多くの子どもたちが活躍する場となりました。記録会の途中には、幼児競技が行われました。25人の幼児が参加し、氷の上を懸命に歩く子や、スケートで滑る子など様々で、記録会に後援いただいた厚真ライオンズクラブの皆さんから、風船やお菓子が渡されました。

入賞者の表彰では、達成感にあふれた子どもたちの笑顔を見ることができました。出場した選手の主な記録については、2ページ目で紹介していますので、ご覧ください。



～ 大会新記録 ～

今回の大会では、2種目で大会新記録が出ており、詳細は以下の通りとなっています。志田くんは、以前の記録から1秒37と大幅にタイムを縮めて9年振りの更新となっています。達成された選手の方、おめでとうございます。

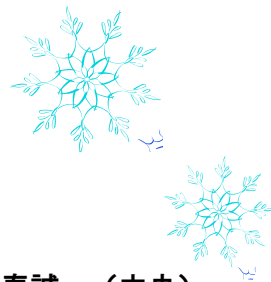
種目	記録	学校	氏名(敬称略)
小学2年 男子・100M	新 19秒17 更新 旧 20秒54 (H25)	中央小	しだ こうたろう 志田 康太郎
小学3年 女子・100M	新 19秒34 更新 旧 19秒62 (H25)	上厚小	かわむら み の 川村 海乃

第42回厚真町スケート記録会成績

成績（敬称略）

【小学男子】

《500 ㊦》	▽1年①藤岡 颯斗（中央）	②渡辺 柊（中央）	
《1000 ㊦》	▽1年①木本 琉維（中央）	②木本 翔琉（中央）	
	▽2年①志田 康太郎（中央）		
	▽3年①窪田 拓磨（中央）	②山岸 春翔（中央）	
《250 ㊦》	▽1年①大友 晴仁（中央）	②北村 南朋（中央）	
	▽2年①大垣 謙心（中央）		
	▽3年①金子 春樹（上厚真）	②海沼 信之介（上厚真）	③岡橋 泰誠（中央）
	④宮 伸太朗（中央）		
《500 ㊦》	▽1年①宮 幸志朗（中央）		
	▽2年①飯田 拓充（中央）		
	▽3年①内沢 慶翔（上厚真）	②渡邊 創士（上厚真）	
	▽4年①柿崎 音羽（中央）	②阿部 航平（上厚真）	③鎌田 宗輔（中央）
	④星 太勇（中央）	⑤日向 灯（中央）	
	▽6年①寺坂 絆（中央）	②窪田 翔太（中央）	③大垣 成示（中央）
《1000 ㊦》	▽6年①寺坂 絆（中央）	②大垣 成示（中央）	③窪田 翔太（中央）



【中学男子】

《500 ㊦》	▽2年①大垣 尊良（厚真中）
---------	----------------

【小学女子】

《500 ㊦》	▽1年①菅原 一乃（上厚真）	②佐藤 旭（中央）	③佐々木 美月（中央）
	④宮下 あかり（中央）		
	▽2年①佐々木 夢羽（上厚真）		
《1000 ㊦》	▽1年①渡辺 月乃（中央）		
	▽2年①松田 真央（中央）		
	▽3年①川村 海乃（上厚真）		
《250 ㊦》	▽1年①荒山 千咲（中央）	②大垣 杜子（中央）	
	▽2年①浅井 碧優（上厚真）		
	▽3年①尾形 ひまり（中央）	②加勢 杏奈（中央）	③鎌田 芽依（中央）
《500 ㊦》	▽3年①浅井 優杏（上厚真）	②北村 波瑠（中央）	③尾形 美音（中央）
	▽4年①荒山 楓奈（中央）	②森崎 稟（上厚真）	③佐々木 絢美（中央）
	▽5年①加勢 愛理（中央）	②飯田 結衣（中央）	
	▽6年①北島 千聖（上厚真）	②菊地 莉多（中央）	③大宮 暉子（中央）
《1000 ㊦》	▽6年①北島 千聖（上厚真）	②菊地 莉多（中央）	

【中学女子】

《500 ㊦》	▽2年①大捕 瑚々奈（厚南中）	②稲川 帆乃花（厚南中）
《1000 ㊦》	▽2年①大捕 瑚々奈（厚南中）	②稲川 帆乃花（厚南中）

「厚真町地域おこし協力隊・スポーツ振興支援員」の紹介

きやま ゆうた
帰山 雄太さん

2月1日（水）、遠藤教育長から帰山さんに地域おこし協力隊としての委嘱状が手渡されました。今後、町の事業などに関わりながら、厚真町の地域スポーツ振興を図る活動を行っていきます。帰山さんは、「スケートの競技経験と指導者としての経験を活かして、厚真町のスポーツ振興に関わり、厚真町に貢献していきます。」と今後の意気込みについて語っていました。



厚南地区学校運営協議会・あつまるねっと 令和4年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に係る文部科学大臣表彰」受賞

上厚真小学校及び厚南中学校地区での学校運営協議会とふるさと教育に関する取組が評価され、2月3日（金）東京都文部科学省において行われた「令和4年度コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に係る文部科学大臣表彰 表彰式」に厚南地区学校運営協議会会長の吉岡博和さんが参加しました。

厚真町では、昔から、学校と地域が連携・協働しながら「子どもたちを中心とした地域ぐるみの教育活動」を行ってきた基礎があり、コロナ禍で活動が停滞している中でも、基礎を活かした厚真町ならではの特色ある教育活動を展開してきました。今後も引き続き、地域とともにある学校を目指していきます。



表彰報告をする厚南地区学校運営協議会会長 吉岡さん

厚真町文化講演会開催のお知らせ

厚真町庁舎周辺等整備基本構想により、老朽化した町内公共施設は、新たに整備する文化交流施設に集約されることが計画されています。厚真町青少年センター図書室は、文化交流施設への移転に伴い、本を貸し出す場所から「地域の核として人が集まりつながる」新しい図書館になることを目指しています。新しい図書館で厚真町が変わる姿をいっしょに考えませんか？

- 講 演「図書館で厚真町が変わる」
～新しい図書館で新しいつながりが始まる～
- 講 師：図書館と地域をむすぶ協議会チーフディレクター 太田 剛 氏
*太田さんは、図書館を核とした新しい図書館づくりに携わってきた専門家で、整備事例を通して得た経験などを交えてお話しいたします。
- 日 時：令和5年3月24日（金）午後6時～8時
- 場 所：厚真町総合福祉センター 大集会室
- 参加料：無料
- 申込み：なし
(オンライン視聴希望者のみ3月22日(水)までに電話またはメールで申込み)
教育委員会社会教育グループ ☎27-2495



講師の太田 剛さん

かんじき体験 ～アウトドア～

教育委員会では、かんじき体験を「冬の自然の楽しさを知るとともに、参加者同士の交流を図る」ことを目的として開催します。かんじきは、雪上などの不安定な地面を歩くために靴の下に着用するものです。着用して雪の上に立つと深く沈まなくなり、いつもより森の奥に入れるため、普段とは違う景色を見ることが出来ます。

NPO法人「森のこころね」の松山道子さんを講師として招いて開催しますので、今年の冬、最後の思い出として雪上での素晴らしい体験をしてみませんか？幅広い世代の皆さんの参加をお待ちしております。

- 【日時】 3月11日（土）午前10時～12時
- 【集合場所】 厚真町スポーツセンター前
- 【参加料】 無料
- 【申し込み】 教育委員会社会教育グループ ☎27-2495（先着20名）
- 【受付期間】 2月24日（金）～3月6日（月）の間
※定員になり次第締め切らせていただきます。



海外でも注目！ シンガポール国営放送 先住民族アイヌの方々の 歴史と文化

アイヌ文化は海外からも注目されており、その歴史を紹介するうえで、厚真町には外すことができない貴重な発掘出土品がたくさんあります。

今回、シンガポール共和国国営放送の、先住民族アイヌの方々の歴史や文化、今を生きるアイヌ民族の若者を紹介した番組で、厚真町からの出土品が紹介されました。YouTubeで「CNA インサイダー アイヌ」と検索すると動画を視聴できます。英語の番組ですが、日本語でのコメントもあり、きれいな映像も紹介されています。



軽舞事務所内でインタビュー撮影



厚真町出土の約800年前
道内最古の和鏡



アニメで北海道のきれいな景色も紹介

右のQRコード
からも動画の視
聴ができます。



大好評の「まが玉づくり」

2月12日（日）、軽舞遺跡調査事務所で「まが玉づくり」を行いました。

予定を上回る29人のご参加を頂き、町民16人のほか、札幌市や新ひだか町などからも参加があり、2カ所に会場を分けて実施しました。

全国でも厚真町だけでしか体験できない、松前町産の原石を使ったまが玉づくりで、緑色の滑石^{かつせき}を紙やすりで削り、磨き上げ、見事な曲線美とピカピカに磨き上がったまが玉に、参加者も大喜びでした。

また、軽舞事務所内の郷土資料の見学も行い、見て・触れて・遊べる郷土資料展示も大好評でした。



町内外からたくさんのご参加を頂き、大人も子どもも夢中になってのまが玉づくりでした。

1月定例教育委員会

1月30日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

令和4年度第1回厚真町二十歳のつどい／長期休業中小中学校学習会／冬休みスケート教室／ルーブル絵画～西洋美術絵画展～／あつひやく（100年先の厚真を創る、100の学び場プロジェクト）第1回、第2回／他2件

◆協議事項

総合教育会議について

◆その他

各学校の卒業式、入学式への教育委員の出席について／胆振管内教育委員会委員研修会について（予定）

★問合せ

教育委員会学校教育グループ

☎27-2494

厚真町の団体紹介 ～厚真けん玉クラブ～

厚真けん玉クラブ（あつけん）は、幼児から社会人までの幅広い世代約40人が活動しているクラブです。

週に1回総合福祉センターに集まって活動していますが、新しい技に挑戦してけん玉の技術を磨く人もいれば、友だちとおしゃべりしながら楽しくけん玉をする子どもたち、交流の場として世間話をする人など、皆さん思い思いの時間を過ごしています。活動中の子どもたちからは、「普段あまり関わりのない人、学校の上級生とかと交流できる」「けん玉の技を決められたとき、友だちに自慢できる」といった活動を通しての魅力を聞くことができました。



活動場所：厚真町総合福祉センター

※活動の詳細などについては、教育委員会までお問い合わせください。

教育委員会社会教育グループ ☎27-2495

図書室だより

青少年センター図書室
TEL 27-2495 (平日)
TEL 27-2321 (土日)

令和4年度 電子書籍・電子図書館アンケート結果について

苫小牧市電子図書館、北海道立図書館電子図書館、11月中に試験的に導入していた電子雑誌などを利用された方を中心に、使用感や今後についてアンケートを実施しました。そのアンケート結果をご紹介します。

アンケートは、11月3日に実施した図書フェスティバルの日に回収いたしました。回答者の多くが小学生で普段からタブレット端末に慣れ親しんでいるようで、初めて使ってみた人もすぐに本を読むことができました。電子書籍は、旅行ガイドや雑誌のような最新の内容が求められる書籍に向いている媒体だと思います。すでに導入している図書館でも、紙媒体と電子媒体を併用して使用することが望ましいとされています。

現在、苫小牧市や北海道立図書館の電子図書館を利用することができますが、いずれも先方の図書館に利用登録する必要があります。厚真町でも4月から電子雑誌の購読を検討しています。利用場所が青少年センター図書室に限られますが、専用のタブレット端末を設置予定です。詳細は図書室だよりや図書室内の掲示でお知らせいたしますので、設置された際にはぜひ試してみてください。

回答者数 49名

★電子書籍の利用状況

よく使う 10% たまに使う 21%
ほとんどない 10% まったくない 59%

★利用してみたいジャンル

1位マンガ(18%) 2位読み物(13%)
3位雑誌(12%)

★厚真町に導入された場合、使ってみたいですか？

使いたい 72% 条件によっては 10%
たまに使う 8% 使わない 10%



確認しよう 図書室を使うときのルール

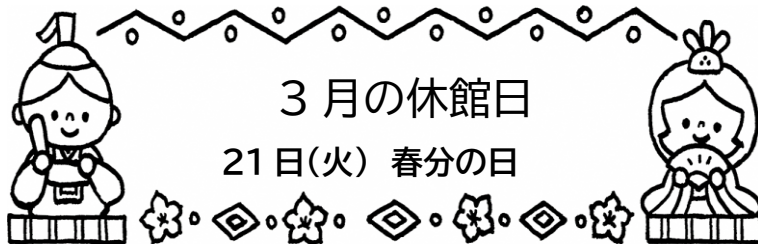


★ 返却期限日を守りましょう ★

2週間で読み切れない場合は、一度だけ延長できますので、青少年センター図書室カウンターまでご連絡ください。予約がない時に限り、その日から返却期限日を2週間延長できます。

★ 本を破いたり濡らしたりした時は、

まずはカウンターへ相談をしましょう ★
カウンターには本を修理するための道具があります。破いたりしてしまった場合は、返却の前にカウンターへ、一言お知らせください。



■青少年センター図書室開館時間
午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)
午前9時から午後7時(火・木)
■厚南会館図書室
午前9時から午後5時(月～日)
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

3月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは、
23日(木) 午前10時から10時30分まで
場所：厚南子育て支援センターです。

☆ 放課後子ども教室活動報告 ☆

今シーズンは例年並みの積雪。昨年は大活躍だった雪かき道具も、出番を待つ日が多いのではないのでしょうか。降り積もったとしても、サラサラ、フワフワした雪が多く、体への負担が少ないことは幸いです。雪だるまやかまくらを作るには不向きで、子どもたちの雪遊びにとっては、少し物足りないかもしれません。

雪が少ない厚真町ですが、子どもたちには季節ならではの遊びを体感してほしいと、冬も外に出て雪遊びのプログラムを実施しています。グラウンド周辺はもちろん、学校林や周辺の環境を安全に配慮しながら活用しています。学校林では、夏には草が生い茂っていて行けない場所も、雪が覆ってくれるので、奥の方まで探検に行くことができます。拾った枝をとときには杖として雪で滑る斜面を登り、ときには剣としてこそんぼく（枯れた木）と戦い、ときには物干し竿として手袋や帽子を引っかけて歩きます。雪が積もって以降、誰の足跡もない一面、真っ白なグラウンドに、わっと走り出す子どもたち。飛び込んだり、寝ころんだり、全身雪にまみれて遊ぶ顔には笑顔が光ります。開拓した雪の道に、今度はスコップを持った職人たちがやってきて、何やら作業が始まりました。手を引かれてついていくと「こっちはお風呂で、ここがお客さんの泊まる部屋だよ」と、雪の温泉旅館を案内してもらいました。目の前にある環境と、子どもたちの想像力が生み出すファンタジーの世界。そばで見聞きしているだけで、ワクワクした気持ちになります。

高学年になると、また少し遊びの強度があがります。ケガや事故にならないよう注意をしながら、子どもたちの「やってみよう！」という気持ちに寄り添うことが、私たちスタッフに求められる場面でもあります。子どもたち自身と何をどうしたいのか、どうすればできるのかを相談し、スタッフとも検討・共有して、その場で活動内容を決めることもあります。緊張感と面白さ、両方が混ざり合う時間です。こうした日々の積み重ねが、子どもたちの成長につながってくれることを願います。



R4年度 放課後子ども教室活動報告会

放課後子ども教室の1年間の活動を、写真のスライドショーで振り返る報告会を開催します。保護者の方、地域の方、どなたでもご参加いただけます。ぜひご来場ください。

◎日時: 2023年3月12日(日)10:00~12:00

◎会場: 厚真町総合福祉センター大集会室

◎事前申込み不要 (直接、会場へお越しください)

